

もうひとつの大阪探訪 ～被差別マイノリティの歴史をひもとく

日時 2021年10月22日（金）14：40～16：10

※日程を再変更
しました

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 吉村 智博（委嘱研究員）

上方落語のかつての名跡・4代目桂文吾が、近世（江戸時代）の千日墓所の情景を織り込んだ名作『らくだ』を演じて世間の耳目をあつめたあと、江戸では真打あたりが高座にかけたであろう、この作品を継承したのは、やはり名跡・6代目笑福亭松鶴、のちに人間国宝となる3代目桂米朝らであった。演目「らくだ」の由来は、とある貧民街に住む「馬五郎という」「無頼漢」が、のっそりと行動することから付けられたあだ名にあるが、その馬五郎が突然死んだがために葬式を出そうする「兄弟分熊五郎」らの抱腹絶倒の掛け合いが展開される。さて、かように上方落語の演目のなかには、近世から近代にかけて生きた被差別マイノリティの日常生活の一齣をユーモラスな形で世相に織り込んだものがいくつかある。今回は、落語という話芸の「王道」のなかに多様な形で登場する被差別民にフォーカスし、都市大阪の歴史のなかで展開された生活の諸相にせまってみたい。

【参考文献】吉村智博『かくれスポット大阪』正・続、解放出版社、2013・2015

* * *

●聴講無料
(定員80名／先着順)
＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

※受講申込にあたっては、以下の〔新型コロナウイルス感染予防対策〕にご留意のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。

〔新型コロナウイルス感染予防対策〕

- 受講者はマスクを必ず着用してください（マスク着用でない場合、受講はご遠慮ください）。
- 受講者は受付で手指消毒用のアルコールにて消毒してください（会場内は事前に消毒を行っています）。
- 座席は間隔を空けて設定いたします。また演台に近い座席は使用しません。
- 換気のため、会場の出入口のドアは講演中も開放いたします。
- 三密対策として、会場内やロビーでの談笑はご遠慮ください。
- 当日、体調不良の方、特に喉の痛み、咳、および熱のある方（体温が37.5℃以上の方）の受講はご遠慮ください。当日は入場時に検温を行います。
- 参加者に感染者が発生した場合は必要に応じて、保健所など公的機関へ氏名および連絡先の情報が提供されることがあります。
- 接触確認アプリCOCOAのインストールを推奨します。
- 感染拡大の際は、講座の開催を中止する場合があります（その場合、受講申込者に連絡いたします）。

手話通訳が必要な場合は、10月7日（木）までに人権問題研究室へご連絡ください。

第105回 10月22日（金）13：00 「障害者差別解消法とリーガル・エンパワメント～権利条約採択15年 差別撤廃の現状と課題を通して～」

第106回 11月26日（金）13：00 「沖縄の米軍と性暴力」

会場は、尚文館 1階 マルチメディアAV大教室



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>